



研修医日記

作成者：廣瀬麻衣（2年次）

こんにちは、研修医の廣瀬です。

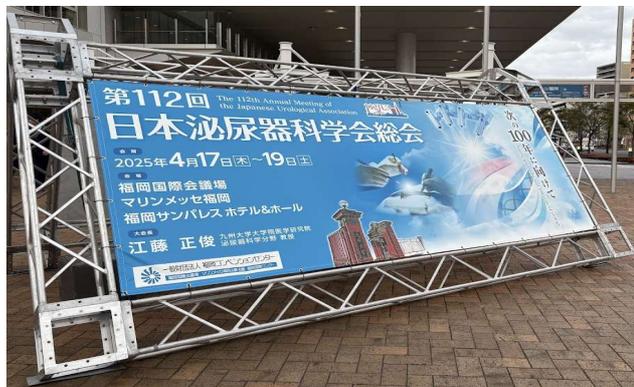
気づけば4月も中旬。2年目研修医として新たなスタートを切るに当たり、自分なりに目標を立てました。それは「何事にも積極的に学ぶ」ということです。一見すると当たり前のように聞こえるかもしれませんが、1年目の研修を振り返ると、目の前の業務に追われる日々で、与えられたことをこなすのに精一杯だったように思います。2年目は、自分の興味があることややってみたいことに、自ら進んで取り組む1年にしたいと思っています。「やらぬ後悔よりやる後悔。」この気持ちを大切にしたいです。

その第一歩として、4月17日～19日に福岡で開催された泌尿器科学会に参加してきました。むつから福岡までは距離があり、参加を迷っていたのですが、迷ったのを後悔するくらい、たくさんのことを吸収できとても良い機会となりました。

泌尿器科というと、「男性のための診療科」「男性医師が多い」といったイメージを持たれる方もいるかもしれませんが、しかし実際には、排尿機能障害、腫瘍、腎移植、感染症、小児泌尿器、透析など、非常に幅広い分野をカバーしており、外科的手技と内科的管理の両方が求められる診療科です。DaVinciやヒノトリのいったロボット支援手術が普及していることも大きな魅力だと思います。

1年目の泌尿器科研修の際に、排尿に関する悩みを抱える女性患者さんが多くいることを学びました。実際に病棟の患者さんを受け持たせていただく中で、内科的管理の重要性も実感しています。恥ずかしさから受診が遅れるケースがありますが、性別に関係なく、誰もが気軽に受診できる環境が整ってほしいなと思っています。

福岡では人の多さに少し圧倒されましたが、それ以上に「まだ知らない世界」に触れることができ、とても充実した時間でした。今年の7月には大学病院で泌尿器科の研修が予定されており、それも今からとても楽しみです。



※日記の作成日と当ページへの掲載日は異なる場合があります。